

最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 7 月 14 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

1) 日足スーパーボリンジャー

<<大局観>>

調整のドル反落局面、緩やかなドル上昇トレンド

<<分析>>

遅行スパンは陽転継続しており、基調としては、依然として、ドル買い優勢を示しています。

日足終値が+1のラインの下方を推移するかぎり、調整のドル反落局面と判断します。バンド幅が縮小傾向に変化していることも、ドル上値の重さを示唆しています。尚、日足終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかなドル上昇トレンドとも読みます。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

レンジ相場

<分析>

遅行スパンはローソク足に絡んで推移しており、引き続き、レンジ相場を示しています。週足終値は、依然として、センターラインの上方で引けており、本格的な調整の戻り上昇局面にありますが、調整戻り上昇の最終ターゲットである+2のラインに接近したことで、ある程度の達成感が生じています。

目先、遅行スパンが横ばい傾向となっているローソク足の影響を受ける中で、依然として、レンジ相場の地合いが続き、+1のラインと-1のラインをコアとするレンジ相場と判断します。

■ユーロドル

1) 日足スーパーボリンジャー

<大局観>

ユーロ緩やかな上昇トレンド

<分析>

遅行スパンは陽転継続しており、引き続き、基調として、ユーロ買い優勢を示しています。日足終値がセンターラインの上方を推移するに限り、ユーロ緩やかな上昇トレンドと判断します。7月13日時点で、日足終値が+1のラインの下方で引けていることから、上値も重い展開が想定されます。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

ユーロ本格上昇トレンド継続中

<分析>

遅行スパンは、陽転継続しており、ユーロ買い優勢を示しています。週足終値が+1ラインの上方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、引き続き、ユーロ本格上昇トレンドと判断します。尚、週足終値が+2ラインと+1ラインの間を推移しており、依然として、巡航速度の本格上昇トレンドとなっていることが見てとれます。

■ユーロ円

1) 日足スーパーボリンジャー

<大局観>

調整のユーロ反落局面、緩やかな上昇トレンド

<分析>

遅行スパンは陽転継続しており、基調として、ユーロ買い優勢を示しています。日足終値が+1ラインの下方を推移するかぎり、調整のユーロ反落局面と判断します。一方、終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドとも読みます。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

本格上昇トレンド継続中

<分析>

遅行スパンは陽転継続しており、ユーロ買い優勢を示しています。週足終値が+1ラインの上方を推移するかぎり、本格上昇トレンドと判断します。

■豪ドル円

1) 日足スーパーボリンジャー

<大局観>

本格上昇トレンド継続中

<分析>

遅行スパンは陽転してきており、豪ドル買い優勢を示しています。日足終値が+1ラインの上方を推移するかぎり、豪ドル本格上昇トレンドと判断します。一方、同ラインの下方で引けると、調整の反落局面入りする可能性が高まります。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

上昇バイアスを伴ったレンジ相場

<分析>

遅行スパンは、ローソク足に絡んで推移しており、レンジ相場を示しています。尚、週足終値がセンターラインの上方で引けており、本格的な調整の戻り上昇局面と読め、バイアスは豪ドル高方向であり、+2ラインを目指す格好となっていました。その最終ターゲットである+2ラインに到達した格好です。目先、+3ラインと+1ラインの間でのレンジ相場と判断します。

■ポンド円

1) 日足スーパーボリンジャー

<大局観>

ポンド緩やかな上昇トレンド

<分析>

遅行スパンは陽転継続しており、引き続き、ポンド買い優勢を示しています。日足終値がセンターラインの上方を推移するに限り、緩やかな上昇トレンドと判断します。尚、7月12日時点で、一旦、日足終値が+1ラインの下方で引けたことから、ポンド上値の重い展開を想定します。今後、再度、日足終値が+2ラインの上方で引けない限り、戻り売り戦略が有効と考えます。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

レンジ相場継続中

<分析>

遅行スパンは、ローソク足に絡みつつも陽転継続しており、基調としては、ポンド買い優勢を示しています。目先、+2ラインと+1ラインをコアレンジとするレンジ相場と判断します。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。